

# ロシア 東欧 経済速報

社団法人 ロシア東欧貿易会  
ロシア東欧経済研究所東京都中央区新川1-2-12 金山ビル 郵便番号104 電話 (3551)6215~9  
購読料 送料共前納 1ヵ月 1,200円 1ヵ年 14,000円

平成6年9月15日

No. 966

## ベラルーシにおける外国企業の進出と外国投資

### はじめに

このほど当研究所では、ベラルーシにおける外国企業の進出と外国投資の法制度と概況について解説した資料を同国政府から入手したので、本号ではこれを翻訳して紹介する。

ベラルーシは地理的に日本から遠く、また人口1,000万の小国だということもあって、わが国ではこれまであまり注目されてこなかった。だが逆に欧州からみればC I S市場に進出するための格好の拠点であり、同国の比較的安定した政治状況も手伝って、思いのほか高い評価を得ているようである。また、中欧に隣接する地理的特性ゆえに、ポーランド、ドイツなどとの経済関係が活発化している様子がうかがえる。

ベラルーシの経済情勢に目を転じると、C I Sのなかでも深刻な経済難に見舞われている国のひとつといえる。1993年のG D Pは前年比9%減、消費者物価は16.7倍となり、1994年上半期にもG D Pが前年同期比31%減と大幅な低下を記録する一方、消費者物価は6月時点で前年末の4倍となった。こうした厳しい経済情勢が7月の大統領選挙の結果（ポピュリスト的なルカシェンゴ大統領の選出）の背景にあったことは言うまでもない。ベラルーシはかねてからC I S経済統合の急先鋒として知られていたが、新大統領はとくにスラブ系三国の